

研修医評価表（小児科）

A：十分達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：全く不十分 NA：評価できない

評 価 項 目	研修医					指導医				
	A	B	C	D	NA	A	B	C	D	NA
患児・家族・医師の良好な人間関係を確立できる。										
小児の検査、バイタルサインの正常値が理解できる。										
小児の成長、発達を理解し、説明できる。										
小児に特有な疾患の病態生理が理解できる。										
小児に用いる薬剤(輸液)量を正しく計算し、使用できる。										
適確な病歴の聴取能力と身体的所見のとり方を修得する。										
患児の問題点を上級医に報告し、対処を考える。										
小児の採血、輸液路確保、皮下注射ができる。										
小児の導尿、腰椎穿刺、骨髄穿刺などの手技を経験する。										
検査や処置において適切な方法を用いて鎮静ができる。										
小児の緊急処置、蘇生法を修得する。										
小児の脳波検査や超音波検査を経験する。										
必要な検査を選択し、その結果を正しく解釈できる。										
小児にかかわる社会的背景における健康問題を説明できる。										